循環研 CSR 特別セミナー

2013 年版 CSR 報告書の動向と事業活動のローライトに対する責任 開催のお知らせ

謹啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

2013 年は GRI ガイドラインの改訂や統合報告フレームワークが公表され、企業情報の開示に大きな影響を与えています。こうした国際的な動向に目を配り、積極的に対応することは重要ですが、企業活動がグローバル化して社会・環境に大きな影響を及ぼしている今日、今一度、CSRの本質を見つめ直し、取り組みの深耕、情報開示を図ることも大切と考えます。

「CSR についての欧州連合新戦略 2011-2014」ではCSRを「企業の社会への影響に対する責任」と再定義し、その目的の一つに「企業の潜在的悪影響を特定、防止軽減する」ことをあげています。一方、昨今の報告書はハイライトばかりに焦点が当たり、ローライトへの注視が非常に少なくなってきています。

当研究会では、ローライトに注目、開示することは決して後ろ向きな取り組みとは考えておりません。 むしろ、ローライトに注目することによって、バリューチェーン、生産工程、製品・サービスにイノベーションを起こし、持続可能な社会の構築により積極的に貢献できると考えます。本セミナーでは、具体的な事例を示し、ローライトへの責任を果たすことの意味を考えたいと思います。

当研究会では毎年、300 社以上の報告書を精査し、その動向、ベストプラクティスを分析することによって、次年度の報告書作成や今後の CSR 活動の留意点などを提案しております。本セミナーでの配布資料は、「今後の取り組み、情報開示に有用」との声が多数寄せられております。

本年度も下記の内容によるセミナーを開催させていただきます。ぜひご参加いただき、2014年の CSR 活動と報告書作成に当たって参考にしていただければ幸いです。

謹白

特定非営利活動法人 循環型社会研究会 代表 山口民雄

記

□プログラム: ①2013 年版報告書の動向と 2014 年版作成の留意点

循環型社会研究会 代表 山口民雄

②企業活動におけるローライトの側面とCSR課題 循環型社会研究会 副代表 田中宏二郎

③CSRによる社会的課題解決型・ビジネスイノベーションの事例紹介 循環型社会研究会 理事 後藤貴昌

□開催日時: 2014年1月20日(月) 14:00~16:40 (開場 13:30~)

□会 場:サティスファクトリー インターナショナル セミナールーム (裏面地図参照) 東京都中央区八丁堀3-12-8 八丁堀SFビル

□参 加 費: 一人 10,000 円 (下記資料代込み、当日受付にてお支払いください) <資料>

- ・「2013 年版報告書の動向ーパフォーマンスとアカウンタビリティのベストプラクティスに向けてー」 (冊子:約210項目の記載内容抽出と、その記述が必要となる社会的背景の解説。約400頁)
- ・「2013 年版報告書一覧」(約300社の報告書のキーポイントを整理)
- ・「事業活動のローライトに対する責任」 発表資料
- □定 員:40名(1企業から最大2名、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます)
- □申込み方法: 貴社名、お名前、ご連絡先 (メールアドレス他) を記載してメール (junkan@sfinter.com) もしくは FAX (03-5542-5303) にてお申込みください。 なお、本会 Web サイト内の以下の URL からもお申込み可能です。合わせてご利用ください。
- ■本セミナー案内ホームページ: http://www.nord-ise.com/junkan/seminar/121220tokubetuseminar.html





■ 個人情報の取り扱いに関する注意事項

- ・お申し込み受付、循環型社会研究会からのセミナー、イベント等のご連絡以外に使用することはな く、ご本人の同意なく第三者に開示、提供することもございません。
- ・お申込みいただいた情報の変更、訂正、削除、その他個人情報の取扱いに関するお問合せは、循環型社会研究会事務局までお願いいたします。(連絡先記載の上)
- ・お名前とご連絡先のご記入がない場合や正確でない場合には、お申込受付を完了できないことがありますので、正確にご記入ください

お申込み先: FAX 03(5524)5303

循環研 CSR 特別セミナー

2013 年版 CSR 報告書の動向と「事業活動のローライトに対する責任」申込み書

貴社名 _	
連絡先 T	El o mai l
理裕尤 I	EL e-mail
参加者氏名	所属部署・役職
参加者氏名	所属部署・役職